

お口の恋人

LOTTE

# 株式会社ロッテ サプライヤーガイドライン



私たちロッテは、創業以来一貫して、「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」という3つを「ロッテバリュー」とし、全ての企業活動の基本としてきました。これらを掲げた企業理念のもと、お客様をはじめ、地域や社会に対し、新たな価値を提供することで、成長し続けてきました。また、企業の社会的責任を果たすべく、私たちが遵守・実践すべき項目を行動憲章である「ロッテグループウェイ」として制定し、さらに、調達、環境、人事、人権、品質・食品安全、サステナビリティ、反社会的勢力排除の7分野についてはより具体的に「ロッテポリシー」を定めています。

さらに、企業の社会的責任として持続可能な社会の実現にいつそう貢献するため、ESG（環境・社会・企業統治）中期目標を定めました。SDGs（持続可能な開発目標）をはじめとする国際的なイニシアチブを踏まえ、ステークホルダーの皆様と対話・協働し、バリューチェーンの各プロセスで社会的責任を果たし、共通課題の解決に向けて取り組みをしていきます。

特に、サプライチェーンのグローバル化に伴い、企業にはサプライチェーン全体において責任ある調達活動を行うことが求められています。私たちは、自社のみならずサプライチェーンを構成するサプライヤー様と協働して、環境や社会に与える影響に十分配慮しながら事業を行うことで社会から信頼され、持続可能な社会の実現に貢献できるものと考えています。

このような考えのもと、「ロッテポリシー・調達方針」に基づき、持続可能な調達活動を推進して参りました。このたび、あらためて本ガイドラインを制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤー様とロッテが基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、協働で持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

サプライヤー様におかれましては、私たちの考え方にご理解とご協力をいただくとともに、本ガイドラインを活用いただき、サプライチェーン全体への働きかけを含めた、積極的な取り組みをお願い申し上げます。

2019年4月  
株式会社ロッテ  
生産本部 資材部  
品質保証部  
経営戦略本部 CSR部

お口の恋人

LOTTE

コーポレートメッセージ

ロッテグループ理念体系

### LOTTE Group Mission

私たちはみなさまから愛され、  
信頼される、よりよい製品や  
サービスを提供し、  
世界中の人々の豊かな  
暮らしに貢献します。

### LOTTE Values

- ユーザー オリエンテッド
- オリジナリティ
- クオリティ

### LOTTE Group Way

- ①安全・安心 ②公明正大
- ③コミュニケーション
- ④従業員 ⑤環境
- ⑥社会貢献
- ⑦コミュニティ

### ロッテポリシー 調達方針

2018年4月18日 制定

私たちは、企業理念に基づき、安全で安心できる高品質の製品・サービスを提供するために、高い倫理観に根ざした公正・公平で透明性のある取引を実施し、お取引先とのパートナーシップのもと、社会的責任を果たす調達活動を推進します。

#### 1. コンプライアンスを遵守します。

私たちは、関係各国の社会規範や関連する法令を尊重・遵守し、公正で透明性のある調達活動を行います。

#### 2. 高い品質と安全性を確保します。

私たちは、お客様に信頼され、安心していただけるよう、高い品質と安全性を確保した調達活動を行います。

#### 3. お取引先の公正・公平な評価と選定を行います。

私たちは、お取引先に対し、常に公正・公平な参入機会を提供し、品質・コスト・納期の他、安定供給、技術力、経営安定性などの総合評価を行い、公正・公平に選定します。

#### 4. 人権や労働環境に配慮します。

私たちは、人権を尊重し、サプライチェーンの人権侵害に加担することなく、労働環境に配慮した調達活動を推進します。

#### 5. 環境問題に配慮します。

私たちは、地球環境に及ぼす影響を把握し、環境に配慮した調達活動を推進します。

## サプライヤーガイドライン

## 1. コンプライアンス

### 法令遵守

関係各国の社会規範や関連する法令を尊重・遵守する。

### 汚職・賄賂などの禁止

政治・行政と健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行わない。

### 不適切な利益供与及び受領の禁止

ロッテを含むステークホルダーとの関係において、不適切な利益供与及び受領を行わない。

### 公正な競争

独占禁止法を遵守し、公正・透明・自由な競争を阻害しない。

### 不正行為の予防と早期発見

不正行為の予防を行うとともに、早期発見し、対応する体制を整備する。

### 情報セキュリティ

機密情報・個人情報を適切に管理・保護し、関連する法令を遵守する。

### 反社会的勢力の排除

反社会的勢力との一切の関係を排除する。

## 2. 品質と安全

### 品質マネジメント

品質に対するマネジメントシステムを構築し、運用する。

### 安全性確保と法令遵守

各国の法令等で定める安全性の基準を遵守するとともに、製品・サービスがロッテと事前に合意した仕様に適合している。

### 情報提供

製品・サービスに関する情報を適切に提供・開示する。

### 危機管理と安定供給

不測の事態に備えて事業継続計画（BCP）を整備するとともに、万が一供給が行えない場合は、速やかにロッテに連絡し、適切な対策を講じる。

## 3. 人権と労働環境

### 差別の禁止

個人の基本的な人権と個性や多様性を尊重するとともに、人種、民族、国籍、性別、年齢、宗教、言語、障がいの有無等に基づくあらゆる差別をなくし、採用や雇用の機会均等と処遇における公平の実現に努める。

### ハラスメントの禁止

物理的または精神的なあらゆる虐待やハラスメントを排除する。

### 強制労働の禁止

強制的な、または意に反したあらゆる労働を行わせない。

### 児童労働の禁止

国際労働機関（ILO）の基準を遵守し、就業年齢に満たない児童を雇用しない。

### 従業員の基本的権利の尊重

結社の自由と団体交渉に関する、従業員の基本的権利を尊重する。

### 人権侵害への加担回避

ステークホルダーと協力し、サプライチェーン上のあらゆる人権侵害に加担しないよう努める。

### 責任ある労働慣行

従業員の労働時間を適正に管理するとともに、適切な給与の支払いを行う。

### 安全な労働環境の確保

あらゆる安全上のリスクを評価し、適切な対策を講じることで、安全な労働環境を確保する。

### 従業員の健康管理

従業員の心身の健康状態を把握し、適切な健康管理を行う。

## 4. 環境

### 環境マネジメントシステムの運用

環境マネジメントシステムを運用し、事業活動が環境に与える負の影響を抑制するよう継続的に取り組む。

### 環境関連法令の遵守

関係各国の環境に関連する法令等を遵守する。

## 資源・エネルギーの効率的な利用

資源・エネルギーの効率的な利用のために、3Rの推進や省エネなど継続的な改善を行う。

## 温室効果ガスの排出削減

地球温暖化による気候変動が事業の持続可能性におよぼす影響を理解し、温室効果ガスの排出削減に努める。

## 汚染物質の適正管理

環境汚染や健康被害につながる可能性のある汚染物質は、関連する法令を遵守し、適切に管理する。

## 地域環境への配慮

操業に伴う排気・排水・臭気・騒音・振動・光などによる周辺地域の環境や生態系、地域住民への影響に配慮し、法令を遵守して適切に管理するとともに、更なる改善を図る。

# 5. 社会との共生

## 国際社会・地域社会の発展へ貢献

国際社会・地域社会の発展に貢献する活動を自主的に行う。

## SDGsへの貢献

持続可能な社会の実現に向けて、SDGs（持続可能な開発目標）を理解し、貢献する。